

秋 11月には大窪集落でもかかしを設置予定 の交通安全運動を呼びかけるかかしが登場

9月14日、秋の全国交通安全運動が展開される中、やぶさめの里健康広場に多くのかかしが設置されました。

これは、大窪集落の婦人会が中心となって毎年かかし作りを行っている住民が、交通安全の少しでも役に立て



ればと肝付警察署、町交通安全協会と協力して今回初めて行われたものです。

当日は、多くのグラウンドゴルフを楽しむ人々のすぐ隣で大小様々なかかしを設置しました。その様子を、プレイする人たちも興味津々に話しかけてくる場面がありました。

大窪集落の婦人会会長である園田裕子さんは、「たくさんの方が目に付く場所に設置させていただいたので、交通安全を意識するきっかけになってくれれば嬉しいです。」と話されました。

また、大窪集落では11月に大隅アリーナ21の入り口前にあるヒマワリ畑でもかかしを設置する予定です。

ロケット打ち上げ成功祈願の千羽鶴、今年も準備着々と進む



9月22日、内之浦でイプシロンロケット4号機打ち上げ成功を祈願して、元婦人会メンバーが中心となった千羽鶴作りが今年も行われました。

当日は、きもつき宇宙協議会や地域おこし協力隊などの「ロケット関係者を元気づけたい!」と応援する人々とも協力して、色鮮やかな折り紙を手際よく、一つの千羽鶴にしていく作業が進められました。

救急・防火の意識を再確認。坂元集落で講習会



9月15日、内之浦の坂元公民館で大隅肝属地区消防組合内之浦分署の隊員を招いて、119番の適切な利用法など救急・防火に関する講習会が開かれました。この日、坂元集落のサロンで集まった9名が、隊員の身近な例えによる分かりやすい説明に聞き入っていました。

1時間半の講習を終えて参加者からは「救急について何も知らなかったのだなと感じましたが、

今回の講習は良い機会になりました。」「119番通報は落ち着いて、冷静に状況を伝えることの大切さを改めて感じました。」「坂元集落だけでなく、今日講習で学んだことを他の人にも伝えたいです。」などの感想が聞かれ、救急・防火に対しての意識が町内へ広がっていききっかけになりました。

